

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	NM519/租税法 (Tax Law)
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	
担当者 (Instructor)	浅妻 章如 (ASATSUMA AKIYUKI)
学期/単位 (Semester / Credit)	春学期/2単位 (Spring Semester / 2 Credits)
備考 (Notes)	

授業の目標 (Course Objectives)

法科大学院における租税法の中核部分である個人所得課税（所得税）と、それに関連して法人所得課税（法人税）のうち特に重要な法人税法22条に関する議論（関連して23条，37条など法人の所得計算についての議論）を，講義形式で紹介する。

授業の内容 (Course Contents)

内容としては，新司法試験の出題範囲をカバーすることを目標としているが，新司法試験で租税法を選択しない者にとっても，卒業後実務をするにあたり租税法を体系的に勉強し勘所を押さえておくことが望ましい。

授業計画 (Course Schedule)

1. 租税法への招待
2. 租税法律主義，租税公平主義
3. 租税法の解釈と適用
4. 所得概念と所得税法の構成
5. 所得分類
6. 所得分類
7. 所得分類
8. 所得分類
9. 収入金額・必要経費
10. 所得の年度帰属
11. 所得の人的帰属
12. マイナス項目・源泉徴収
13. 法人税の意義
14. 法人税法の益金
15. 法人税法の損金

授業時間外（予習・復習等）の学習 (Study Required Outside of Class)

租税法は会計や税務ではなくあくまで【法学】の一つですので，民法・行政法などロースクール生が当然に知っているべき知識を前提とした講義を行います。基本七法科目をしっかり押さえてきて下さい。租税法では経済学の発想も用いられますが，経済学的発想については講義で適宜補う予定です。

予習される方は→ <http://www.rikkyo.ne.jp/web/asatsuma/sozeihou.html>

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験 (Written Exam) (70%) / 授業毎の予習の程度 (15%) / 授業への積極的参加の程度 (15%)

授業への出席率が70%未満の者は不合格となる。

テキスト (Textbooks)

中里実他編著 『租税法概説第2版』（有斐閣 2015）

参考文献 (Readings)

金子宏他 『ケースブック租税法第4版』（弘文堂 2013 978-4335305122） 金子宏 『租税法第20版』（弘文堂 2015） 水野忠恒他 『租税判例百選第5版』（有斐閣 2011 978-4641115071）

その他 (HP等) (Others (e. g. HP))

<http://www.rikkyo.ne.jp/web/asatsuma/>